



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
コード番号 6190 URL https://phoenixbio.co.jp
代表者 （役職名）代表取締役 （氏名）島田 卓
問合せ先責任者 （役職名）専務取締役管理部長 （氏名）田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	756	△4.0	5	—	16	—	12	—
2025年3月期中間期	788	△10.6	△98	—	△123	—	△124	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 8百万円（－％） 2025年3月期中間期 △123百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	3.03	—
2025年3月期中間期	△30.89	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2,101	1,381	65.1
2025年3月期	2,285	1,365	59.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 1,366百万円 2025年3月期 1,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,640	6.4	109	—	116	—	110	—	27.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	4,076,933株	2025年3月期	4,057,233株
2026年3月期中間期	6,737株	2025年3月期	6,737株
2026年3月期中間期	4,059,323株	2025年3月期中間期	4,038,824株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気は緩やかに回復しているものの、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続等が景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が進んでおります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループでは世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心に、マウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスの提供及びPXBマウス関連製品の販売を行っております。

新しい創薬モダリティが台頭するなかにおいて、PXBマウスは核酸医薬品や遺伝子治療等の開発で利用が増加しており、その有用性が認識されるにつれて、新規顧客からの引き合いも増加しております。しかしながら、主要顧客である米国の製薬企業においては開発予算の抑制が継続しており、見込んでいた複数の受託試験案件が失注するなど厳しい受注環境にあります。受注高は前年同期を上回りましたが、計画を下回る水準で推移しております。また、売上高については海外でのPXB-cells販売が失速したことから、前年同期を若干下回りました。損益面につきましては、売上原価は海外生産施設であった子会社のKMT Hepatech, Inc. が生産活動を終了したことにより前年同期から減少し、販売費及び一般管理費においても人件費や研究開発費として利用するPXBマウスの製造単価が減少したことから、費用圧縮の効果が営業黒字の確保につながりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は756,352千円（前年同期比4.0%減）、営業利益は5,676千円（前年同期は営業損失98,830千円）、経常利益は16,365千円（前年同期は経常損失123,652千円）、親会社株主に帰属する中間純利益は12,307千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失124,748千円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,555,708千円となり、前連結会計年度末に比べ161,727千円減少いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が47,364千円増加した一方で、現金及び預金が237,826千円減少したことによるものです。また固定資産は545,298千円となり、前連結会計年度末に比べ22,608千円減少いたしました。この結果、資産合計は2,101,006千円となり、前連結会計年度末に比べ184,336千円減少となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は419,519千円となり、前連結会計年度末に比べ147,103千円減少いたしました。これは主に事業整理損失引当金が95,784千円、前受金が34,705千円、それぞれ減少したことによるものです。また固定負債は300,019千円となり、前連結会計年度末に比べ53,293千円減少いたしました。これは主に長期借入金が39,996千円減少したことによるものです。この結果、負債合計は719,538千円となり、前連結会計年度末に比べ200,397千円減少となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,381,467千円となり、前連結会計年度末に比べ16,061千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上により利益剰余金が12,307千円増加したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ237,826千円減少し、911,564千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は177,408千円（前年同期は95,184千円の使用）となりました。これは主に事業整理損失引当金の減少97,230千円、売上債権及び契約資産の増加47,364千円、前受金の減少34,705千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は7,170千円（前年同期は8,514千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出8,924千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は52,073千円（前年同期は60,338千円の使用）となりました。これは長期借入金の返済による支出39,996千円、リース債務の返済による支出12,077千円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月15日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,390	911,564
売掛金及び契約資産	170,279	217,644
有価証券	625	799
製品	63,093	69,465
仕掛品	44,897	42,333
原材料及び貯蔵品	225,234	221,475
その他	63,914	92,425
流動資産合計	1,717,435	1,555,708
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,762	59,425
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	22,370	28,365
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	34,574	30,189
使用権資産(純額)	110,993	102,311
有形固定資産合計	527,702	516,292
無形固定資産	18,274	16,735
投資その他の資産	21,930	12,271
固定資産合計	567,906	545,298
資産合計	2,285,342	2,101,006
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,370	13,714
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	79,992	79,992
未払法人税等	11,363	11,114
前受金	82,455	47,749
賞与引当金	7,493	3,397
受注損失引当金	—	10,440
事業整理損失引当金	140,797	45,013
その他	128,151	108,097
流動負債合計	566,623	419,519
固定負債		
長期借入金	220,018	180,022
その他	133,295	119,997
固定負債合計	353,313	300,019
負債合計	919,936	719,538

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,569,896	2,573,570
資本剰余金	789,805	793,479
利益剰余金	△2,032,987	△2,020,680
自己株式	△40	△40
株主資本合計	1,326,673	1,346,329
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	24,140	20,546
その他の包括利益累計額合計	24,140	20,546
新株予約権	14,592	14,592
純資産合計	1,365,406	1,381,467
負債純資産合計	2,285,342	2,101,006

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	788,201	756,352
売上原価	240,469	181,440
売上総利益	547,731	574,911
販売費及び一般管理費	646,561	569,234
営業利益又は営業損失(△)	△98,830	5,676
営業外収益		
受取利息	3,778	5,291
為替差益	—	4,312
輸送収入	900	1,004
業務受託料	—	2,276
その他	178	208
営業外収益合計	4,858	13,093
営業外費用		
支払利息	2,599	2,398
株式交付費	12	6
為替差損	27,067	—
営業外費用合計	29,680	2,405
経常利益又は経常損失(△)	△123,652	16,365
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△123,652	16,365
法人税、住民税及び事業税	4,077	3,897
法人税等還付税額	—	△5,938
法人税等調整額	△2,980	6,099
法人税等合計	1,096	4,057
中間純利益又は中間純損失(△)	△124,748	12,307
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△124,748	12,307

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△124,748	12,307
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,322	△3,594
その他の包括利益合計	1,322	△3,594
中間包括利益	△123,426	8,713
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△123,426	8,713

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△123,652	16,365
減価償却費	12,044	15,312
株式報酬費用	10,440	4,496
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,521	△3,963
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2,561	10,440
事業整理損失引当金の増減額(△は減少)	—	△97,230
受取利息	△3,778	△5,291
支払利息	2,599	2,398
為替差損益(△は益)	14,668	△2,340
有形固定資産除却損	0	0
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	1,292	△47,364
棚卸資産の増減額(△は増加)	21,719	△49
仕入債務の増減額(△は減少)	11,093	△2,628
未払金の増減額(△は減少)	△13,088	△15,558
前受金の増減額(△は減少)	△7,120	△34,705
預り金の増減額(△は減少)	△1,064	16,734
その他	△45,715	△30,778
小計	△122,519	△174,164
利息及び配当金の受取額	3,778	5,382
利息の支払額	△2,599	△2,398
補助金の受取額	10,930	—
法人税等の支払額	△2,936	△6,714
法人税等の還付額	18,161	485
営業活動によるキャッシュ・フロー	△95,184	△177,408
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△223	△175
有形固定資産の取得による支出	△4,099	△8,924
無形固定資産の取得による支出	△4,191	△1,502
その他	—	3,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,514	△7,170
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△39,996	△39,996
リース債務の返済による支出	△20,342	△12,077
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,338	△52,073
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,262	△1,173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△180,300	△237,826
現金及び現金同等物の期首残高	1,384,891	1,149,390
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,204,590	911,564

（4）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（連結子会社の清算終了）

清算中でありました当社の連結子会社であるKMT Hepatech, Inc. は、2025年10月31日付で清算終了いたしました。

1．清算終了日

2025年10月31日

2．当該連結子会社の概要

名称	KMT Hepatech, Inc.
所在地	Edmonton, Alberta, Canada
代表者	Kaz Fortuna
事業内容	PXBマウス及びPXB-cellsの生産
資本金	843,749カナダドル
設立年月日	2001年1月
大株主及び持株比率	株式会社フェニックスバイオ 100%

3．損益に与える影響

当該会社の清算終了による連結業績に与える影響は軽微であります。

3. 補足情報

(1) サービスライン別売上高

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
受託試験サービス	254,345	32.3	269,039	35.6
PXBマウス販売	453,152	57.5	445,168	58.8
PXB-cells販売	80,703	10.2	42,143	5.6
合計	788,201	100.0	756,352	100.0

(2) 分野別売上高

		前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
薬効薬理分野	国内	16,704	2.1	1,028	0.1
	海外	50,421	6.4	30,291	4.0
安全性等分野	国内	113,076	14.4	157,634	20.9
	海外	607,999	77.1	567,397	75.0
合計		788,201	100.0	756,352	100.0

(3) 分野別受注高

		前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)		当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
薬効薬理分野	国内	8,675	2,148	5,789	5,442
	海外	—	2,416	678	2,526
安全性等分野	国内	140,015	22,520	181,698	28,174
	海外	309,260	338,783	431,875	914,004
合計		457,951	365,868	620,041	950,146

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントですが、事業の傾向を示すためサービスライン別売上高、分野別売上高及び受注高を記載しております。